



渡辺 重雄
議員

質問

合併10年、各種データやアンケートで見る市政の課題と対応について

合併から10年、今までは新市建設計画を基本にした総合計画のもと、糸魚川市の一体感の醸成に力を入れた市政が展開されてきたと考えている。

現在、平成29年度からの第2次総合計画の策定にとりかかっており、今後の計画には合併の効果等の検証と課題把握を含め、10年間の総括を基本に据え、新たな夢のある計画が必要である。

そこで、今回は、実際の数値や住民の声による市政への関わりについて、どんな受け止め方をして、第2次総合計画などに反映させていく考えであるか伺う。

(1)過去3回にわたり総合計画の策定時に市民アンケートを実施し、これまでの取組を検証したり市民の意識を確認しているが、市民満足度など市民の意向をどのように受け止め、今

後に反映させる考えか。

(2)総合計画の目標指標は達成度や効果をわかりやすく示すための「ものさし」であり、長期財政見通しは財政的視点から補完し、計画の実効性を高めるためのものと思うが、第1次総合計画における目標指標、長期財政見通しから見える市政の進捗と第2次総合計画への対応についてどうか。

▼市長答弁

- (1)糸魚川市の印象に関する大半の項目で良い印象が増加していることから、市民の印象は改善してきていると感じている。一方、産業や健康福祉分野における満足度が低い結果となっており、産業振興や雇用環境の整備、地域医療体制の充実などの取組の強化が必要と認識している。満足度の低い施策については、原因の分析を行い、実施手法を見直し、アンケート結果を総合計画の策定に生かしていく。
- (2)第1次総合計画の76項目の目標指標のうち、平成26年度末では8割以上が達成となっている。また、財政計画では、新幹線関連事業などの大きな事業がほぼ完了したところであるが、財政健全度を示す実質公債費比率は予想より低く抑えられている状況である。第2次総合計画の策定に当たっても、達成度を踏まえた目標指標の設定や、長期財政見通しの作成により、効果的、効率的な行財政運営に努めていく。

こ
こ
が
聞
き
た
い
！
一
般
質
問



五十嵐健一郎
議員

質問

地域医療体制の充実について

以下の項目について現状・分析・課題及び今後の取組と将来の方向性について伺う。

- (1)医療施設等設備整備について
- (2)救急医療体制について
- (3)医師確保対策について
- (4)IISA※通訳（医療）の充実について

▼市長答弁

- (1)当市の地理的・地形的な要因もあり、極力市内で完結できる医療体制が必要である。糸魚川総合病院においては、地域包括ケア病床と高度治療病床を整備したところである。
- (2)糸魚川市医師会及び糸魚川総合病院の協力を得る中で、365日24時間の救急医療体制を維持しているが、市内開業医の高齢化や糸魚川総合病院の医師の減少などにより、救急医療に携わる医師の不足が課題である。

- (3)開業医の確保はもちろんであるが、特に病院勤務医の確保のため、当面は、より多くの研修医から研修先として選択してもらえよう取り組んでいる。
- (4)現在市内4か所の医療機関で通訳を実施しているが、今後は市内のより多くの医療機関でサービスが受けられるよう、関係団体と協議していく。

質問

交流いきいき産業のまちづくりについて

以下の項目について伺う。

- (1)ものづくりに携わる人材育成の推進及び優遇制度の調査・検討について
- (2)職業訓練校の充実及び経営者育成学校の創設について
- (3)企業の地方拠点強化策及び県やNICO（にいがた産業創造機構）との連携について

▼市長答弁

- (1)これまで、中小企業大学校等における研修費用の助成のほか、資格試験受験料の助成、職業訓練校における訓練への支援を行っており、今後もさらなる調査・研究を進めていく。
- (2)今後、職業訓練校におけるメニューの拡大を進めていくとともに、次世代ビジネスリーダー育成研修を支援していく。
- (3)国において、促進する税制措置が創設されているので、今後とも情報収集を行っていく。また、引き続き県やNICOと連携して、新商品開発等を図っていく。

※IISA…糸魚川国際人材サポート協会の略。市内に住む外国人が病院の受診や市役所の手続きなどを行う際の通訳を行う。